

Healthy People and Society



- 健康・医療

社会貢献活動

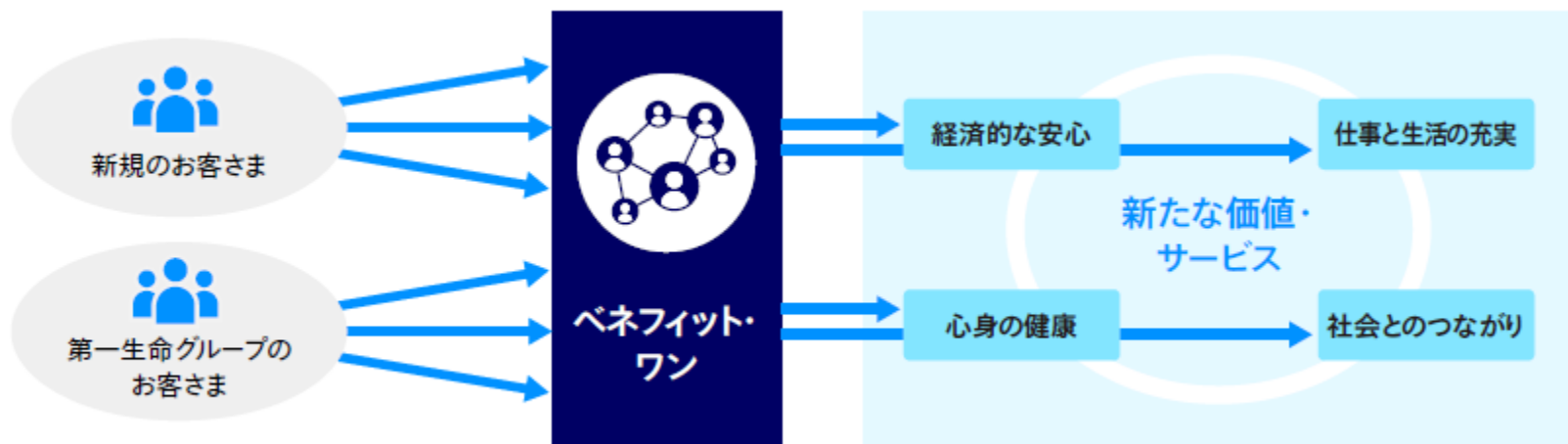
健康・医療

新規事業領域におけるHealthy People and Society実現に向けた価値提供

当社は、生命保険にとどまらず、お客さまの人生のあらゆる場面で価値を提供する「保険サービス業」への進化を目指しています。日本国内では人口減少による市場の縮小が見通される中、少子高齢化、価値観の多様化・細分化、労働市場の逼迫やデジタル技術の急速な進化など、新たなビジネスチャンスも広がっています。こうした環境認識の下、当社グループは持続的に社会へ貢献し、成長し続けるため、ヘルスケアや福利厚生といった保険に隣接する領域へ事業を拡大してきました。

具体的には、健康増進アプリ「QOLism」を通じた価値提供、健康寿命の延伸・企業課題解決に向けたヘルスケアビジネスの推進に取り組んでいるほか、一人ひとりの日々の生活をあらゆる面で支えるために、福利厚生事業を展開するベネフィット・ワンを2024年に子会社化いたしました。

ベネフィット・ワンの福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」のプラットフォームとしての機能・魅力の更なる向上や健康・医療関係サービスの強化、既存事業と親和性の高い新たな事業領域への挑戦等、次の取り組みへの方向性を幅広く検討し、お客さまのWell-being向上やHealthy People and Societyの実現に向けて、いっそう取り組みを進めてまいります。





健康・医療

健康・医療関連サービスにおけるコア・マテリアリティの解決に向けた取組み

すべての人がより良く生きていくことができる社会をつくるためには、生存の土台を支える社会システムの包摂的な整備と同時に、社会とのつながりを通して生きがい・働きがいを感じられる機会の提供が必要不可欠です。日本国内では、人々の健康寿命の延伸が重要な課題となっています。自身と社会とのつながりを見出し、個々人が生きがいを感じられる環境を整えることが求められている中、新規事業領域ではヘルスケアや福利厚生プラットフォームなど新たな事業領域を拡大し、保険以外の価値提供においてもお客さまのWell-beingの実現を支えるべく、取組みを進めています。

■ ベネフィット・ステーション(ベネフィット・ワン)

導入企業法人数は約18,100団体、会員数は約1,000万人超にのぼる会員制総合福利厚生サービス。グルメ・レジャー・ショッピング・スポーツ・旅だけでなく e ラーニング等の学習コンテンツ、育児・介護・健康・引っ越し等ライフイベントに関わるものまで、約140万件以上の豊富なサービスをご提供しています。

また、ベネフィット・ステーションの一部のプランにおいて、導入先企業の健康経営実現を支援すべく、健康リスクの判定や従業員の意識醸成や具体的な行動・習慣化までをサポートする健康増進アプリ「QOLism」のご提供も実施しており、従業員のWell-beingの向上、導入先企業の生産性向上に貢献しています。

ベネフィット・ステーション

特徴

- 業界最大級だからこそ実現できる割引優待
- 二親等以内のご家族対象
- 全国で利用できる
- 困った時のコールセンターも完備

サービス数は140万以上市場最安値でサービスを利用可能!

✈️

✉️

🏃

🌟

📱

🍴

👶

👤

💪

🏠

🛒

🏠

🚗

🐶

📶

💰

🎁

🎁

旅

レジャー・エンタメ

スポーツ

リラク・ビューティー

スキルアップ

グルメ

育児

介護

健康

出会い・結婚

ショッピング

家事・住まい・引越し

カー

ペット

通信・電気・ガス

ポイント交換

お祝い

オリジナル企画

■ ハピルス健診代行サービス(ベネフィット・ワン)

健康診断に関わる業務を代行する、健診代行サービス。全国3,000カ所に及び豊富な健診ネットワークを有し、健診予約のワンストップ代行で企業担当者の負担軽減と従業員の受診率を向上。さらに、健診結果を一元管理・可視化、WEBによるペーパーレス対応も可能となっており、企業や個人の健康リテラシーの向上も実現しています。



■ QOLism(QOLead)

歩数の自動計測、食事記録、運動といった様々な機能により、簡単に楽しく健康的な生活習慣が自然と身につくように設計された健康増進アプリ。被保険者がポイント付与対象となる項目を行うと、QOLismポイントが付与され、様々な商品に交換可能。ユーザーの方々が楽しみながら継続できるしくみが特徴であり、多くのお客さまよりご好評をいただいています。





グループ全体

第一生命



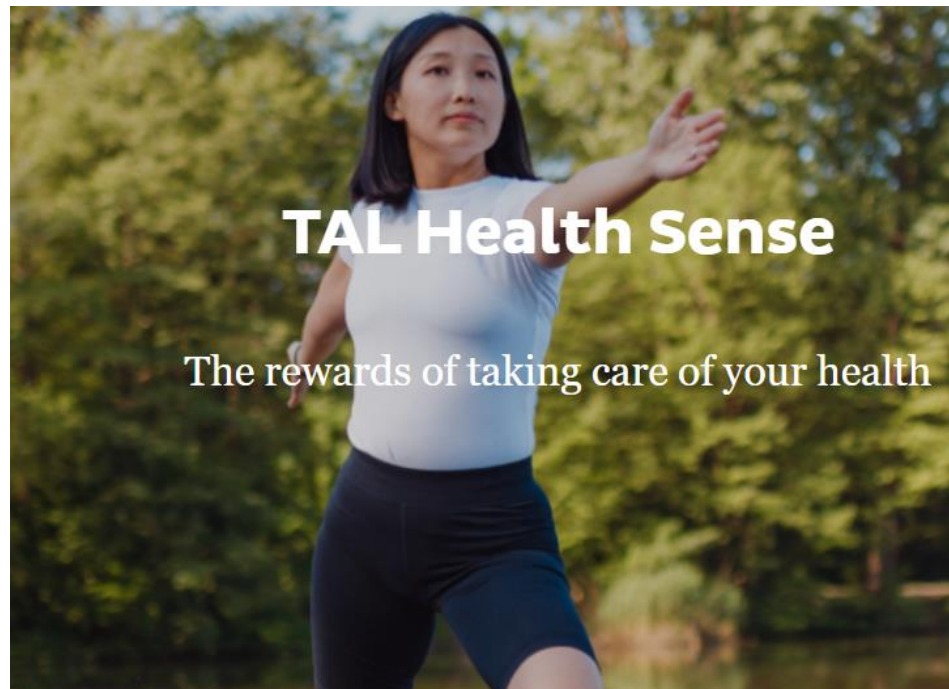
健康・医療

健康・医療関連サービスにおけるコア・マテリアリティの解決に向けた取り組み

■ Health Sense Program (TAL)

予防的に健康対策を行っているお客さまに対し、保険料割引を実施することで、お客さまの健康とwell-beingの向上を図るプログラムです。2023年度にはBMI値の改善が見られた182,000人（2022年度から89%増加）のお客さまに対し、割引を実施しました。

また、病状の早期発見に焦点を置いたHealth Sense Plusプログラムでは、2022年度に比べ3%増のお客さまに対し割引を行っています。



Healthy People and Society



健康・医療

- 社会貢献活動

[グループ全体](#)[第一生命](#)

社会貢献活動

グループ社会貢献取組方針

当社グループは、[グループ社会貢献取組方針](#)に基づき、グループ各社ならではのノウハウやリソースを活用して、独自の社会貢献取組みを行い、社会貢献課題の解決に挑戦しています。

グループ社会貢献取組方針

制定 2016年10月1日
改正 2025年4月1日

第一生命グループは、パーパスとして掲げる、「共に歩み、未来をひらく 多様な幸せと希望に満ちた世界へ」の実現に向け、地域の社会課題解決に貢献することで、社会とともに持続的に成長することを目指します。

以下各テーマにおける各社の取組み内容を一部ご紹介します。

健康とWell-being
P.53, 54

将来世代への教育支援
P.55-57

多様性
P.58

地域社会とのつながり
P.59

文化・芸術
P.60

スポーツ振興
P.61

各グループ会社HP の社会貢献ページリンク一覧

- > [第一生命](#)
- > [第一フロンティア生命](#)
- > [ネオファースト生命](#)
- > [アイペット損保](#)
- > [アセットマネジメントOne](#)
- > [第一ビルディング](#)
- > [相互住宅](#)
- > [アセットガーディアン](#)
- > [プロテクトイブ](#)
- > [TAL](#)
- > [パートナーズ・ライフ](#)
- > [第一生命ベトナム](#)
- > [第一生命カンボジア](#)
- > [第一生命ミャンマー](#)
- > [スター・ユニオン・第一ライフ](#)
- > [パニン・第一ライフ](#)



グループ全体

第一生命



健康とWell-being

保健文化賞の主催（第一生命）



本賞は1950年の創設以来、厚生労働省などの後援を得て毎年実施している、第一生命において最も長い歴史をもつ社会貢献事業です。生活習慣病対策・高齢者や障がい者への福祉・海外での医療や疾病対策など、その時代におけるさまざまな課題に継続的に取り組んでこられた団体・個人を顕彰しています。

コミュニティ・ヘルス＆ウェルネス・フェアの開催（プロテクトイブ）



プロテクトイブは、プロテクトイブ・スタジアム周辺地域のみなさまの健康増進を目的に、「コミュニティ・ヘルス＆ウェルネス・フェア」を開催しています。イベントでは、血圧・コレステロールの測定や子ども向けの眼科検診など、無料の健康サービスを提供しています。また、地域のウェルネス関連団体も参加し、身体的・精神的・経済的健康に関する情報を提供しました。

日本赤十字社への寄付（QOLeap）



QOLeapは、ヘルスケアアプリ「QOLism（キュオリズム）」を通じて、社会課題への支援に取り組んでいます。2024年度には、多くのアプリユーザーが獲得したポイント交換により、「日本赤十字社への寄附」を実施しました。災害など困難に直面する方々への支援を目的に、QOLeap社員も「身体的」「精神的」「社会的」幸福の実現という使命を胸に、今後も社会貢献活動を継続してまいります。

社内カフェでのドリンク購入を通じた寄付活動（第一フロンティア生命）



第一フロンティア生命の西新橋本社（東京都港区）では、同社内にあるHELLO CAFE（第一生命の特例子会社である第一生命チャレンジが運営）と共同し、ドリンク1杯に20円の寄付をプラスできる取り組みを実施しています。集まった寄付については、地域の福祉事業に役立ててほしいとの思いから、NPO法人や社会福祉協議会にお贈りしています。



グループ全体

第一生命



健康とWell-being

アンコール小児病院への寄付（第一生命カンボジア）



第一生命カンボジアは、乳幼児に質の高い医療を提供するアンコール小児病院（AHC）を長年にわたり支援しています。直近では、2025年2月に15,000ドルの寄付を行いました。AHCは年間10万人以上の子どもたちに無料の医療サービスを提供しており、これまでの当社からの寄付により、COVID-19関連支援やプレイグラウンドの設置などが実現しています。継続的な支援を通じて、カンボジアの子どもたちがより健やかな未来を築けるよう貢献してまいります。

メンタルヘルス向上への貢献（TAL）



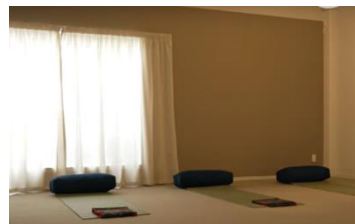
TALでは、若年層のメンタルヘルス向上を支援するため、メンタルヘルスケア領域における研究や教育、イノベーションにおいて世界を牽引する団体「Orygen」と提携しています。同団体とのパートナーシップを通じて、「Orygen」の思想とヘルスケアモデルに基づいた若年層とその家族の健康およびウェルビーイングを理解・支援することで、オーストラリア国内のメンタルヘルスに対する意識を高めることを目指しています。2019年には、ビクトリア州サンシャインに「Orygen」のヘッドスペースセンターを設立するため、全国より募った7万豪ドルの資金を寄付しました。

白内障患者への支援（第一生命ベトナム）



第一生命ベトナムでは、恵まれない白内障患者を回復させ、光をもたらす活動を継続的に支援しています。2024年にはビントゥアン省、ソックチャン省、バックリユウ省、キエンザン省、ティニン省、ベンチエ省の6つの省で、恵まれない白内障患者1,110人のために5回のチャリティー眼科手術を支援しました。

メンタルヘルス不調からの回復支援（パートナーズ・ライフ）



パートナーズ・ライフではメンタルヘルス不調に対する取組みの一環として、年間100,000ニュージーランドドル相当の寄付を通じて、うつ病回復センター「Whakamātūtū」を支援しています。

これにより、経済的理由から6週間の回復プログラムへの参加が難しい方々にも、当プログラムへの参加が可能となっています。



グループ全体

第一生命



将来世代への教育支援 ～金融教育～

消費者教育・金融保険教育支援（第一生命）



すごろく形式のゲームを楽しみながら結婚・住宅購入などのライフイベント、病気・ケガなどのリスク、振り込み詐欺や架空請求といった消費者被害事例など、人生を疑似体験することができる「ライフサイクルゲームⅢ～生涯設計のススメ～」による消費者教育・金融保険教育支援を行っています。成年年齢の引き下げや高校での金融教育必須化、消費者被害のさまざまな様相など、社会情勢の動向にも対応した内容となっており、公益財団法人消費者教育支援センターが主催する「消費者教育教材資料表彰」において2022年に優秀賞、2023年に理事長賞を受賞しました。全国の学校や自治体・民間企業などへ提供している他、社員による出張授業・研修も実施しています。

公益財団法人 国際保険振興会（FALIA）への支援（第一生命HD）



アジア地域の生命保険業発展に寄与する次世代への教育推進を目的に、公益財団法人 国際保険振興会（FALIA）を支援しています。FALIAは、1962年に公益財団法人 矢野恒太記念会を通じてアジア地域へ研修を開始しました。1970年には、財団法人アジア生命保険振興会として設立され、アジア地域外からの研修参加者増加なども踏まえて1994年に現在の財団名に改めました。海外の保険事業関係者を招いた研修や、新興国からの留学生を対象とした懸賞論文および生命保険に関するセミナーの開催など、若い世代も含めた包摂的な保険教育の推進に努めています。

ジュニア・アチーブメントプログラムへの支援（プロテクトイブ）



プロテクトイブでは、将来世代への教育支援の一環として、本社が所在するアラバマ州にて「Junior Achievement」の活動を支援しています。本プログラムは、若者がグローバル経済の中で成功するために必要な力を身につけられるよう、彼らを鼓舞し、必要な知識やスキルを身に付けることを使命としています。同団体が提供する教育プログラムでは、キャリア探索や職業準備、金融リテラシー、ビジネスおよび起業家精神など、現実的かつ実践的なテーマが扱われています。これらのプログラムを通じ、参加者は自らの可能性を理解し、それを最大限に活かす力を養うことができます。

Banquerへの技術提供と寄付（パートナーズ・ライフ）



パートナーズ・ライフは、小・中学生の金融に関する理解と発達を支援するために、Banquer（学生の金融リテラシー向上をミッションとするスタートアップ）の生命保険と健康保険の教育プラットフォームである「Banquer High」の開発に技術的専門知識を提供しました。また、より多くのニュージーランドの学生がこのリソースを活用できるように、Banquerに資金を寄付しました。



将来世代への教育支援 ～第一生命によるスポーツ振興～

第一生命 全国小学生テニス選手権大会



「世界に通用する選手育成のためにはジュニアからの強化が重要である」という公益財団法人日本テニス協会の趣旨に賛同し、1983年の第1回より本大会に特別協賛するとともに、当社所有のクレーコート（東京・仙川）を大会会場として提供しています。また2022年に、本コートを屋外型として国内初となるレッドクレーコートに改修したことで、選手育成強化への更なる支援に繋がっています。

女子陸上競技部元選手による学生向けランニング教室



第一生命では、全国の市民ランナーを応援する「Run with You」プロジェクトの一環として、地域の皆さまの健康増進を目的に当社グループ女子陸上競技部元選手によるランニング教室を全国各地で開催しています。子どもたちにマラソンを身近に感じて、走ることへの興味を持ってもらうことを目的に、小中学生を対象とした教室も開催しています。

第一生命×LDH 親子ダンス教室



第一生命と株式会社LDH JAPANは社会貢献活動に関する「包括連携協定」を締結し、子どもたちや地域社会の活性化など、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

その一環として、親子のコミュニケーションの時間を大切にし、ダンスを楽しんでもらうことを目的に、未就学児～小学生のお子さまとご家族を対象にした親子向けダンス教室を各地で開催しています。

小学生向けスケートボード体験会



「誰でも気軽に楽しむことができるスケートボード競技を普及させたい」「競技で世界に挑戦したい」という想いに共感し、第一生命は2023年5月より、東京2020オリンピック競技大会スケートボード女子パーク金メダリストの四十住さくら選手と所属契約を締結しています。四十住選手を講師に迎え、初心者向けの「スケートボード体験会」を開催し、小学生約20名が基本動作を体験しました。四十住選手のデモンストレーションも実施され、好評をいただきました。



グループ全体

第一生命



将来世代への教育支援

孤児院での環境教育 (スター・ユニオン・第一ライフ)



スター・ユニオン・第一ライフは、児童養護施設「Fr. Agnel Balbhavan」において、環境意識の醸成を目的とした啓発活動を行っています。

2024年の啓発活動には、5歳から16歳までの約30名の子どもたちが参加し、地球温暖化やカーボンフットプリントなどの近年における環境課題とその対策について学びました。子どもたちは説明に熱心に耳を傾け、積極的に意見を交わす姿が見られました。また、学んだ内容をもとに日常生活での環境への配慮を文章や絵で表現する創作活動にも参加しました。

児童養育施設への支援 (第一生命マンマー)



第一生命マンマーでは、「ジャパンハート」が運営する児童養育施設「ドリームトレイン」を支援しており、子どもたちのwell-being向上のために物資を寄付するとともに、プログラミングの授業を提供するなど、子どもたちがより良い教育を受けられるよう支援を行っています。

地方部の学校への水ろ過装置の設置 (第一生命ベトナム)



第一生命ベトナムは、地方部の学校に水ろ過装置を設置する「Clean Water project」を推進し、生徒や教員に安全な飲み水を提供することで、学習環境と健康面の改善を図っています。このプロジェクトは2011年に業界初のプロジェクトとして開始し、現在に至るまで継続して取り組んでいます。2024年は全国の12校に水ろ過装置を設置し、5,300人以上の生徒と教員に清潔で安全な水を提供しました。

多様性

インクルーシブ出張授業 ～障がい者と共に働く～ (第一生命チャレンジド)



第一生命チャレンジドは、障がいのある人の就労について仕事内容、職場環境などに配慮した特例子会社です。多様な人々が共に生き、共に学ぶ「インクルーシブ教育」のため、全国の小学校・中学校・高等学校・大学・特別支援学校の生徒や学生を対象に、障がいに関する基礎知識や障がい者雇用に関する「インクルーシブ出張授業」を行っています。チャレンジドの取組みや社員の体験談をお伝えすることで、インクルーシブな社会の実現に向けた理解促進の一助としていただいています。

農園での障がい者雇用 (アセットマネジメントOne)



就労機会に恵まれない地域在住の障がい者などへの就業機会の提供を目的とした「IBUKI柏ファーム」という農園の当社スペースで、知的障がい、発達障がい、精神障がいの方を中心に社員として雇用し、ハーブ栽培を実施しています。「IBUKI」で当社職員が栽培したハーブはオフィスグリーンとしてオフィスフロアへ設置され、またハーブティとして社員向け飲料用やノベルティとして活用されています。

自立した女性のための能力開発研修の実施 (第一生命ベトナム)



第一生命ベトナムでは、恵まれない女性たちのための職業訓練プログラム「ベトナム女性の未来のために」を継続して支援しています。2024年度は、ラムドン省の貧困患者支援協会（The Sponsoring Association for Poor Patients）と連携し、40名の障がいを持つ女性を対象にした編み物の職業訓練クラスを開催しました。

障がい者自立支援取組み・古本などを活用した寄付 (ネオファースト生命)



障がい者の支援事業社と協力し、福祉作業所にて障がい者の皆さんが手作りされているお菓子を社内で販売する出張販売会の取組みを継続して実施し、障がい者の自立を支援しています。その他、ブックオフコーポレーション株式会社のプログラムを活用し、古本やDVDなどの買取金額を「日本赤十字社」等に寄付する取組みも行っています。

アボリジニとトレス海峡諸島コミュニティへの支援 (TAL)



TALでは、社内外のさまざまなコミュニティにおいて、アボリジニとトレス海峡諸島民の文化に対する意識の向上に取り組んでおり、これらの人々の社会的不公平などを解消することを目的とした団体である National Aboriginal Sporting Chance

Academy（NASCA）と提携しています。NASCAとのパートナーシップでは、アボリジニとトレス海峡諸島民が持続的にコミュニティを維持できるよう、熟練したボランティア活動を提供しており、2023年には、TALから38名のボランティアと10名のインターンシップ生が有意義なボランティア活動に参加しました。これらの活動により、NASCAが支援する若者における高等学校卒業資格の取得率95%となりました。



グループ全体

第一生命



地域社会とのつながり

青森県との「動物愛護に関する連携協定」締結・官民連携取組み (アイペット損保)



「ペットと人と共に健やかに暮らせる社会をつくる」経営理念のもと、青森県の掲げる方針「人と動物が共生する社会の実現」に共感し、2019年より動物愛護に関する連携協定を締結しています。防災対策を目的とした、県民と共に作成をする「ペットと安全に避難するためのペット同伴避難所情報マップ」の企画運営や、青森県動物愛護センターでのアイペット社員による研修・ボランティア活動を通じて、動物福祉・愛護への理解を深める活動に取り組んでいます。

「おむつ替え・授乳スペース」の無償提供 (アセットガーディアン)



運営を行っている保険相談ショップ「保険deあんしん館」の店舗内には、保険のご相談に関係なく、いつでもどなたでも無料でお使いいただける「授乳・おむつ替えスペース」をご用意しています。小さなお子さまを連れての方が安心してお出かけできるよう、「授乳・おむつ替えスペース」には、おむつやおしりふきも無料で提供しています。

被災地・被災者支援

■ 地震被災地支援（第一生命グループ）

ミャンマー中部地震の復興支援として、現地で支援活動を行う特定非営利活動法人ジャパンハート等に5,000万円を寄付しました。本寄付は、ジャパンハートによる物資支援や巡回診療に活用されたほか、第一生命ミャンマーの社員が被災地を訪問し、飲料水ステーションの設置や食料・生活必需品などの支援物資の提供を行う活動にも充てられました。



■ 地震被災地支援（第一生命グループ）

第一生命グループでは、2024年1月1日に発生した能登半島地震によって被災した社員および被災地域への復興支援を目的に、「社内義援金」の募金活動を実施しました。第一生命グループの役員および社員より寄せられた「社内義援金」は、被災した社員に対し見舞金として寄贈を行い、残額については、被災地の一日でも早い復興を祈り、石川県内の一部自治体へ寄贈しています。



■ 水害被災者支援（第一生命ベトナム）

第一生命ベトナムでは、水害被災者や恵まれない被災世帯への支援を引き続き行っています。2024年には、伝染病や暴風雨、洪水により甚大な被害を受けた600世帯と児童を対象に、生活賃金や食料、生活必需品の支援を行いました。





グループ全体

第一生命



文化・芸術（第一生命）

VOCA 展への特別協賛



平面美術の領域で国際的に通用する将来性のある40歳以下の若手作家の育成・支援を目的に、上野の森美術館にて開催されている「VOCA展」に第1回（1994年）より特別協賛しています。過去にはNerhol、蜷川実花らが受賞しており、若手作家の登竜門として高く評価されています。

VOCA 展受賞作家への支援



所蔵しているVOCA賞（大賞）など受賞作品を、日比谷本社の1階ロビーや「第一生命ギャラリー」で定期的に公開しています。さらに、同ギャラリーにて受賞作家の個展を開催し、受賞後の制作活動を発表する場を提供することで継続した支援を行っています。

認定NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワークへの支援



第一生命ホール（東京・晴海）を拠点として活動する認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワークを支援しています。同法人は、ホールでの音楽公演の企画運営、日ごろ音楽ホールに来場しにくい子どもたちや福祉施設の方々に良質な音楽をお届けするアウトリーチ活動などを実施しています。

ザルツブルク・国際モーツァルテウム財団との文化事業



当社は、90周年事業として作曲家モーツァルトの住家復元事業への支援を行ったことをきっかけとして、モーツァルトの原資料収集や学術研究で世界的に知られるザルツブルク・国際モーツァルテウム財団との友好関係を築いています。2024年9月に国際モーツァルテウム財団と共同で、作曲家ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトの新たに発見された楽曲を日本初演奏する記者会見を当社の日比谷本社で開催しました。国際モーツァルテウム財団が新たに『ケツヘル目録』へ追加された楽譜を発表し、日本初演となる生演奏を行いました。



グループ全体

第一生命



スポーツ振興

第一生命グループは、以下のような取り組みを行っています。競技の魅力を多くの人々にお伝えするとともに、スポーツをきっかけとした「健康」や「つながり・絆」の体験機会を提供していきます。

女子陸上競技部への支援（第一生命）

スポーツ・文化への支援の一環として、1990年に女子陸上競技部を創設し、選手の育成を行ってきました。「一人前の陸上選手に、そして一人前の社会人になろう！」をモットーに、指導体制・環境を充実・強化しています。選手はトップアスリートとしての活動を続けながら、社会人（第一生命グループの社員）として、社会貢献活動など多様な活動を通してキャリア形成を行い、一人ひとりがそれぞれの夢や目標に向かって挑戦しています。

「Run with You」プロジェクトでは、エリアを代表するマラソン大会への協賛をはじめ、健康について考える機会や皆と一緒に走ることの楽しさを実感する機会等の提供を通じて、全国の市民ランナーと関係する皆さまの「well-being（幸せ）」の実現を応援しています。



公式X
アカウントは
こちら

スケートボード競技への支援（第一生命）

「誰でも気軽に楽しむことができるスケートボード競技を普及させたい」「スケートボード競技で世界に挑戦したい」というスケートボード女子パーク初代オリンピック金メダリストの四十住さくら選手の想いに共感し、2023年に四十住さくら選手と所属契約を結び、全社でスケートボード競技を応援しています。



ダンス競技への支援・協賛（第一生命、ベネフィット・ワン）

2013年に小中学校のカリキュラムでダンスが必修化されて以降、国内の競技人口は急増しています。ダンスのプロを目指す子どもたちを応援し、日本のダンス文化の発展と普及に貢献するとともに、健康増進や人とのつながりの場の創出にも取り組みます。

■ タイトルスポンサーとしての協賛（第一生命）

第一生命では、発足初年度である2020年度より「第一生命D.LEAGUE※」に、2024年度より「第一生命SD.LEAGUE※」に、タイトルスポンサーとして協賛しています。

※「第一生命 D.LEAGUE」は日本発のプロダンスリーグ。「第一生命 SD.LEAGUE」は全国のダンススタジオ日本一を決定する大会。



■ 「D.LEAGUE」への参加チームのオーナー参画（ベネフィット・ワン）

「D.LEAGUE」発足初年度より、「BenefitoneMONOLIZ」のチームオーナーとしてリーグに参画しています。スポーツ振興にとどまらず、ジェンダーレスな世界観が魅力のダンスジャンル「Vogue」を軸に、文化創造にも貢献しています。



■ Shigekix選手の所属契約（第一生命）

第一生命では、「ブレイキンの魅力や楽しさを広め、世界に挑戦したい」という想いをもち、成功の根拠を「人と人とのつながり」に置くブレイキン日本代表のShigekix選手に共感し、2024年にShigekix選手と所属契約を結び、ダンス文化の普及に取り組んでいます。

